

平成 30 年度神戸市人と猫との共生推進協議会 第 3 回定例会議録

1. 日 時

平成 31 年 3 月 15 日（金）14：00～16：00

2. 場 所

神戸市勤労会館 4 階 403 講習室（中央区雲井通 5 丁目 1-2）

3. 出席者

(1) 構成団体 11 団体の内 8 団体出席（規約第 6 条第 2 項の規定により会議成立）

(2) 出席者氏名 資料 1 出席者名簿のとおり（一般傍聴者 0 名）

4. 議 事

【報告事項】

(1) 事業部会開催状況

平成 30 年 4 月～31 年 2 月まで 11 回（月 1 回）開催し、月ごとの繁殖制限事業計画を協議し、支援申込、情報提供があった団体、地域の支援決定を行った。3 月 27 日に本年度最後の事業部会を開催予定。

(2) 野良猫の繁殖制限事業の進捗状況（平成 31 年 2 月末現在）

平成 30 年度は、新たな支援申込 111 件、情報提供 94 件（支援申込と重複 22 件）があった。

これらの支援申込の内、事業部会で対策区域を定めて支援を行ったのは 79 件、情報提供 35 件（17 件は支援申込と重複）であった。

不妊去勢手術数は、雄 790 匹、雌 848 匹の合計 1,638 匹であった。この中には、29 年度に支援を行った 77 団体で今年度も追加で手術を行った 666 匹も含まれている。今年度の手術数は 1,880 匹程度になる予定である。

(3) 猫の譲渡の推進事業の実施状況

協議会のホームページでは、12 団体の情報を提供している。譲渡開催日や会場は、神戸市ネコ局公式 Facebook でも案内している。平成 30 年度は 1 月末現在で神戸市動物管理センターを除き、520 匹の猫が譲渡された。

(4) 各種イベントへの参加状況

① LUCKY CAT PROJECT

2 月 9 日～11 日の 3 日間、神戸バル地階で神戸市が取り組む「猫と共生」を応援するコラボレーション企画として開催。フラワーウォールの展示、神戸出身の動物写

真家沖昌之氏による「残念すぎる猫写真展」、トークショー、募金を行った。

② 人と猫との共生に関わる展示会

2月18日～22日の5日間、神戸市役所1号館2階市民ギャラリーで構成団体や神戸市の啓発展示を行った。

③ ネコ市ネコ座

2月23日～24日の2日間、神戸KIITOで開催。構成団体のフェリシモ猫部やネスレピュリナペットケア、神戸猫ネットがそれぞれ参加するとともに、協議会も2階のブースでPRやアンケート、募金を行った。協議会構成団体が参加したトークショーも行った。

④ 映画「ねことじいちゃん」(2月22日封切)ポスターへの広告掲載

協議会の広告を入れたポスターを市内の動物病院、ペットショップ、市役所関係に送付し掲示。

(5) TNR実務者研修

① 人と動物の共通感染症について(平成30年8月29日)

講師：大阪府立大学笹井教授(神戸市獣医師会の市民公開特別セミナーとして開催)48名受講

② 動物福祉の観点より正しい犬・猫の飼い方(平成30年11月8日)

講師：日本愛玩動物協会の河合兵庫支所長 27名受講

③ 動物行動学の観点より猫の生態を知る(平成31年1月23日)

講師：神戸市獣医師会橋本獣医師 39名受講

(6) 寄付、募金

2月末時点で、3,036,941円の寄付、募金が集まっている。今後、動物病院からの募金などが集まる予定。

(7) 神戸市人と猫との共生ガイドラインについて

最終案を1月15日から2月15日まで神戸市と協議会でそれぞれ意見募集を行い、意見は、生活衛生課に4件、協議会に8件あった。意見に対する回答は、3月19日のホームページにアップする予定。ガイドラインは3月中に5000部印刷し、協議会構成団体や他の関係者に配布を予定。

【協議事項】

平成31年度当初の事業を行うにあたり、事業計画、予算の暫定案を提示し、承認を得ることとする。

(1) 平成31年度事業計画案

【地域猫活動と連携した野良猫の繁殖制限】

- ・30年度に引き続き、野良猫により生活環境等に問題が生じている地域において、不妊去勢手術を計画的・集中的に実施する。地域猫活動団体が行うTNRを約500匹、その他の経費TNRを約900匹計1,400匹の不妊去勢手術を予定。来年度は、新規の支援申し込みが29年度、30年度に比べ少なくなってくるが見込まれ、その分を積み残している地域に充てる。
- ・TNR実務者研修を継続実施し、これらの研修受講者の中から指導者を育成し、TNRの現場においてサポートを行う。
- ・3年目の事業を実施しつつ、3年間のデータを踏まえ事業の検証を行う。
- ・野良猫の繁殖制限事業にかかる新たな協力者(協力獣医師、TNR協力者)の募集・登録を行い、事業の協力体制を強化する。

【野良猫の給餌・糞尿等に関する助言指導】

- ・人と猫との共生に関するガイドラインを広く周知するとともに、野良猫の繁殖制限事業に伴う不適正な給餌者に対する指導助言を行う。また、各種イベントの主催、共催による啓発事業を実施する。

【猫の譲渡の推進】

- ・市域で保護された猫の譲渡会情報を協議会のホームページなどをおして提供するとともに猫の譲渡会場提供者の情報収集も行う。

【その他】

- ・定例会議・事業部会の開催、ホームページの作成および事業実施状況等の公表、寄付金、募金集め、神戸市への事業内容等の報告、その他神戸市との連携により円滑な事業の推進を図る。

(2) 平成 31 年度予算案

- ・収入は、神戸市からの補助金 1,100 万円、繰越金 10 万円、寄付、募金 211 万円で合計 1,321 万円。
- ・支出は、野良猫繁殖制限事業費として 12,272,000 円（不妊去勢手術費用 1,400 匹、現地作業等の実費弁償、印刷経費）、野良猫の給餌等に関する指導助言費 120,000 円、猫の譲渡推進事業 20,000 円、定例会議費 66,000 円、事務費 500,000 円、保険料 132,000 円、予備費 100,000 円を計上し、合計 13,210,000 円。
- ・なお、平成 30 年度の決算見込みは、収入が 1,634 万円、支出が 1,624 万円となる予定。

意見

- ・協議会事業は、まだ 2 年しか経過していないため、猫の不妊去勢手術の需要はまだまだ多い。手術していない猫がいれば、また増えてしまうということもあるので、臨機応変に対応できるように、寄付金に頼るだけでなく、神戸市の予算をできるだけ増やしてほしい（神戸猫ネット）。

回答

- ・猫の繁殖時期に TNR 数を増やすなど、メリハリのある対応をしている。また、前年度に支援した団体に対して追加の手術も実施している（事務局）。

- ・2年間で振り返り、データの検証をしたうえで、それを根拠とした予算要求をしていきたい。また、ふるさと納税も増やしていきたいので皆様にもご協力をお願いしたい（神戸市）。

意見

- ・協議会事業だけでなく、他の制度を利用して TNR を行っている団体もあり、できるだけ多くのデータを集めて検証してほしい（神戸猫ネット）。
- ・動物に限定した予算では限界があるので、人が豊かな生活をする社会を目指す対策として取り組んでほしい（Knots）。

※意見交換の後、平成 31 年度の暫定事業計画案、予算案ともに承認されたことにより、平成 31 年度初めは当該事業計画案、予算案で事業を実施し、5 月に開催予定の定例会議で平成 30 年度決算とともに承認を得ることとする。

【連絡事項】

(1) 神戸市より

- ・ふるさと納税における「動物愛護支援事業専用」寄付額が年々増加しており、平成 30 年度は 1,500 万円を超えている。
- ・猫の譲渡数は年々増加しており、逆に殺処分は減少している。

(2) 出席者より

- ・高齢者の健康に資するため、高齢者への猫の譲渡を進めていきたいと考えているがいかがか（獣医師会）。
- ・高齢者への猫の譲渡については、健康支援につながる一方で猫の終生飼育が難しいなど課題もあり、事業が円滑に進むよう協議会としてシステムづくりを検討していく必要がある（Knots、神戸猫ネット、動物福祉協会、愛玩動物協会）。